

ぼくと お父さんの

ボランティアかつどう

3月11日、東日本で大きな地しんが おきました。

ぼくは、その時学校の教室にいました。

ガタガタとたくさんゆれたので、つくえの下に

もぐりました。すごくこわかったです。

地しんが おきてから、ぼくは お父さんたちの
ボランティアを手つだいました。

一回目と二回目は、中新田の子どもまつりと、

小の田でほ金かつどうをしました。しんさいにあった
人たちに元気に なって もらいたくて、大きな声で

がんばりました。たくさんの人たちがほ金をして
くれてうれしかったです。ほ金をしてくれた

人たちは、とてもやさしい人だと思いました。

そのお金でひさい地の人たちがたすかってほしいと
思いました。

三回目は、お父さんの友だちと一緒に、

石のまきのみなと小学校に行きました。

みなと小学校には、ほ金かつどうであつまったお金で、
小の田でとれたやさいやつけもの、アイスクリームや
なっとうをもって行きました。

みんなすごくよろこんでくれました。

おいしいやさいをたくさん食べてがんばって
ほしいと思いました。またみなと小学校に行った
ときは、なかよくなった友だちと一緒に
あそんで元気にしてあげたいです。

そして、これからもボランティアかつどうを
お父さんと一緒につづけていって、みんなを
え顔にしたいです。

(作文宮城 60号 特別編『あの日の子どもたち』より)

